

令和元年度 第1回教育課程編成委員会 議事録

日 時：令和元年7月23日(火) 19時00分～20時30分

場 所：熊本総合医療リハビリテーション学院1号館 会議室2

出席者：18名

〈学外委員〉7名

平田 好文（熊本託麻台リハビリテーション病院 理事長・病院長）

中島 雪彦（大阿蘇病院 リハビリテーション課 課長）

福田 靖子（合志第一病院 リハビリテーション科 科長）

今田 吉彦（熊本機能病院 総合リハビリテーション部 作業療法課 課長）

村上 智章（熊本赤十字病院 臨床工学課 課長）

浅井 裕晴（青磁野リハビリテーション病院 義肢装具室）

西岡 和男（熊本市消防局 警防部 首席審議員）

〈学内委員〉11名

辻野学院長、山本顧問、須加原副学院長、中原副学院長

坂崎教育部長、鬼塚事務部長、高木副教育部長兼作業療法学科学科長

池田理学療法学科学科長、藤井臨床工学科学科長

本田義肢装具学科学科長、後藤救急救命学科学科長

1. 開会

2. 学院長あいさつ

辻野学院長から委員会開会にあたり挨拶が行われた。合わせて、今期新たに学内委員に就任した2名の紹介がなされた。

3. 議事録確認

辻野委員長より前回の議事録の確認が行われた。また、要約版の議事録については、後日ホームページにて公表することが確認された。

4. 議事

(1) 新たな教育方法・教育内容への取り組みについて（会議資料）

辻野委員長より、本日の会議の進め方について説明が行われた。

次に、学内委員から会議資料に基づき、新たな教育方法・教育内容への取り組みについて説明が行われた。

学外委員より、以下のような意見が寄せられた。

- ・学院では早くからCC（クリニカル・クラークシップ；診療参加型臨床実習）に取り組み、これが定着してきている印象を受けている。それに加えて、OSCE（オスキー；客観的臨床能力試験）を導入され、学内でも臨床能力試験が行われていることを高く評価している。今後も更により良い学生教育を進めていただきたい。
- ・入学者の状況を踏まえての、先生方の教育への丁寧な取り組みや、スキルを高めるための細かな計画内容を知りすごいなと感じている。作業療法士を目指して入学した学生達が夢を実現させるために、先生方はここまでしなければならないのかと思った。
- ・今回の資料を読んで、各学年での詳細な教育内容や教育方法が記載してあり、学生に対してきめ細かな教育に取り組まれていることが理解できた。
- ・アクティブ・ラーニングで能動的かつ実践的な学習方法に加えて、eラーニングを導入したことは非常に良いと思う。
- ・救急救命学科は、以前からいろんな計画を順調に発展させている印象が非常に強い。特に救急活動においては、コミュニケーション能力は必要とされているので、それに関していろんな工夫がなされていると感じている。
- ・今までずっとこの委員会に出席してきて感じるのだが、最初の頃は、各学科の話の内容がバラバラであったが、学科間で情報を交換しながら進めてこられたので良い成果がでていていると感じている。各学科での取り組みは良い方向へ向かっていると思う。
- ・今回の理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の改正で臨床実習施設への滞在時間が週40時間となった。そうすると、学生へのフィードバックや、学生とのディスカッションを何時するのかということが大きな問題となってくる。
- ・透析分野の腹膜透析について、最近はAPD（Automated Peritoneal Dialysis；自動腹膜透析）等の自動の装置を使うということで、臨床工学技士が介入している施設も増えているのでそのような学習も取り入れてはどうか。
- ・救急救命学科でOSCEを行う際に、標準患者を卒業生に依頼して行うと良いと思う。そうすることで、卒業生の様子が分かり学生にとっても将来の目標につながると思う。
- ・今病院で取り組んでいる症例検討の模擬版のようなものを学生教育の中で行うことについて、そろそろ具体的に考えなくてはならない。
- ・大学の卒業生に対して学生募集をして入学してもらうという戦略もあるのではないかな。
- ・病院でのチーム医療は、一人の患者さんに5・6名のチームで対応する。患者さん毎に毎回チームのスタッフが違うし、職種や年齢も違って来る。そのチームをコントロールするためには、コーチが上手にマネジメントしていかないといけない。チーム医療というのはそう簡単なことではないと思っている。
- ・学院が推進している切断者スポーツクラブ「ファイヤーブレイズ」について、パラリンピックスポーツには切断者が参加しているスポーツ以外にも、義肢装具士が関わっている車椅子や装具装着者が参加しているスポーツもあるので、今後分野を広げてはどうか。
- ・切断者スポーツクラブ「ファイヤーブレイズ」の活動は、メディアにも取り上げられやすいので、全学科で取り組んでいただきたい。それで学院全体の評価が上げられればいいと思う。

5. その他

辻野学院長より、第2回教育課程編成委員会を開催することが案内され、11月27日（水）に開催することとなった。

6. 閉会